

国立大学法人等施設の老朽化等に関するアンケート調査

(調査対象)

国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構(以下、大学という。)が保有する施設(職員宿舎を含む)から附属病院を除く。

(回答にあたっての注意事項)

- ①一般論ではなく、貴法人自身の状況から御回答ください。
- ②プログラムで集計するため、行列の加除、セル移動や結合等を行わないでください。

0. 基礎情報

法人番号 法人名

1. 大学運営における施設の老朽化対策に関する考え方や取組状況について

(1) 貴大学において、大学の理念やアカデミックプランを実現するために、解決すべき施設に関する喫緊の課題と捉えている事項を記載して下さい。(自由記述: 400文字以内) 現在の文字数=0

(2) 大学運営を行う上で、下記の項目について重要と考えるものから優先順位を1~3(重複番号無し)で記入してください。

	(↓回答欄)
・老朽化した施設の改修	<input type="text"/>
・老朽化した施設の改築	<input type="text"/>
・狭隘化の解消	<input type="text"/>
・ライフラインの整備	<input type="text"/>
・施設管理に関する全学的な意識の醸成と実施体制の整備	<input type="text"/>

(3) 施設の老朽化について、貴大学ではどの程度対応できていると考えていますか。

下記の項目について1~4のいずれかを選択して下さい。(選択)

【選択肢】1:できている 2:概ねできている 3:十分にはできていない 4:全くできていない

	(↓リストから選択)
・施設の劣化状況の把握	
・施設の修繕・改修の需要の把握	
・施設の維持に必要なコストの把握	
・施設の維持に必要な財源確保の取組	
・外壁タイルの落下など重大事故の防止	
・停電や断水など教育研究活動を中断するような事故等の防止	
・建物躯体の劣化(コンクリートの中性化等)の防止	
・教育研究を行う場としての機能の維持	
・光熱水費の縮減など省エネルギー対策	
・施設の廃止かリノベーションの判断	
・施設を大切に使う利用者意識の醸成(学生参画の取組等)	

(4) 施設の維持管理に必要な財源を確保するために、どのような取組を実施していますか。

下記の項目で「1:実施/2:未実施」を選択するとともに、項目にあげた取組以外の取組を行っている場合は具体的に記述してください。

(収入の一部を施設の維持管理に充当している場合も「1:実施」を選択してください。)

状況		(↓リストから選択)
→		
・スペースチャージ		
・外部へのスペース貸出し		
・競争的資金等の間接経費の活用		
・目的積立金の活用		
・入構料・駐車代の徴収		
・上記以外の取組み		

2. 施設の長寿命化改修の課題等について

(1) 建築物の寿命(しゅん功してから解体・改築するまでの年数)を何年程度と見込んでいるか記入してください。

①旧耐震建物 年程度 ②新耐震建物 年程度

※新耐震、旧耐震の区分は昭和56(1981)年6月に施工された耐震基準とする。

(2) 施設の長寿命化を行う上で課題になると考えられる事項について「○」を選択するとともに、具体的な事例があれば記述してください(複数選択可)

	構造体の劣化が著しい等、改築よりも改修の方がコストがかかる (自由記述)	具体例
	階高や柱間隔が十分でない等、教育研究ニーズに応じることが困難 (自由記述)	具体例
	同種の老朽化施設が複数存在するため、個々に改修すると改修費や維持管理費が高くなる (既存の施設を改築により集約化(コンパクト化)した方が効率的) (自由記述)	具体例
	その他の課題 (自由記述)	具体例
	特に課題となる事項はない	

(3) 施設の維持管理において、特に整備需要が多い部位について、近年の修繕状況・点検結果等から総合的に判断し、8項目以内で選択して下さい。

・仕上	<input type="checkbox"/>	屋上防水	<input type="checkbox"/>	外壁	<input type="checkbox"/>	建具	<input type="checkbox"/>	内装
・設備	<input type="checkbox"/>	受変電	<input type="checkbox"/>	照明	<input type="checkbox"/>	通信情報	<input type="checkbox"/>	中央監視
	<input type="checkbox"/>	ELV	<input type="checkbox"/>	水槽	<input type="checkbox"/>	衛生	<input type="checkbox"/>	給排水
	<input type="checkbox"/>	空調(個別)	<input type="checkbox"/>	空調(中央)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	消防
・外構	<input type="checkbox"/>	緑地管理	<input type="checkbox"/>	道路	<input type="checkbox"/>	困障	<input type="checkbox"/>	駐車駐輪場
・屋外	<input type="checkbox"/>	共同溝	<input type="checkbox"/>	電力線	<input type="checkbox"/>	情報通信線	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	上水道管	<input type="checkbox"/>	排水管	<input type="checkbox"/>	ガス管	<input type="checkbox"/>	
・その他	<input type="text"/>							

3. 改修・修繕履歴等の把握状況について

改修と修繕の履歴について把握状況を教えてください。

※回答に補足の必要(一定金額以上のものであれば把握している等)があれば記載ください。

※「改修」と「修繕」の区分けは以下を参考にしてください。

改修 劣化した建物の性能及び機能について、原状(初期水準)を超えて改善すること。(初期設計に対し、設計条件の見直し・新基準・新技術等を取り入れて、施設全体を高機能化する)
修繕 経年や摩耗等により機能や性能が低下し劣化した部位の一部や全部を、取替えや修理により性能をもとどおり、または実用上支障のない状態まで回復させ、建物の機能低下の速度を弱め長持ちさせること。(建物の建設当初の水準にまで回復させることを目標とするもの。)

(1)改修履歴について

(↓リストから選択)

①過去何年分を把握していますか

ア:3年以下 イ:5年程度 ウ:10年程度 エ:10年以上
オ:把握していない(→②の回答は不要です。)

②一覧データとして整理されている項目についてチェックを入れて下さい。

項目	発注主体	
	(本部)	(部局)
工事件名		
具体的な工事内容		
契約金額(総額)		
契約の内訳(工種別)の金額		
工事の財源		
工事を行った棟名称		
改修した時点での築年数		
一覧データとしては整理していない(施設実態報告のみで把握)		

※上記の回答への補足(自由記述)

(2)修繕履歴について

(↓リストから選択)

①過去何年分を把握していますか

ア:3年以下 イ:5年程度 ウ:10年程度 エ:10年以上
オ:把握していない(→②の回答は不要です。)

②一覧データとして整理されている項目についてチェックを入れて下さい。

項目	発注主体	
	(本部)	(部局)
工事件名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
具体的な工事内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
契約金額(総額)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
契約の内訳(工種別)の金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工事の財源	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工事を行った棟名称	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
改修した時点での築年数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一覧データとしては整理していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※上記の回答への補足(自由記述)

4. 主要な部位の耐用年数、予防保全・事後保全の実態について

(1) インフラ長寿命化計画(行動計画)等を策定する際、更新・改修の時期を決めるために参考としたものに「○→」を入れてください(複数回答可)

	『建築物のライフサイクルコスト』(建築保全センター)の計画更新年数
	国税庁の減価償却資産の耐用年数
	その他()

(2) 更新年数について目標としている値と実績について教えてください。

① 目標値(インフラ長寿命化計画(行動計画)等において設定している更新年数)

		<回答欄>	
A. 屋上	・コンクリート押え(アスファルト防水)		年
	・露出シート防水 (合成高分子)		年
	・露出シート防水 (アスファルト)		年
B. 外壁	・タイル張り(全面的な浮き補修 等)		年
	・塗装・仕上塗材		年
C. 設備	・照明器具		年
	・エレベーター		年
	・個別式空調(EHP空調/マルチ)		年
	・個別式空調(EHP空調/パッケージ)		年
	・個別式空調(GHP空調)		年
	・中央式空調(主にボイラー設備)		年
	・衛生設備(トイレ)		年

※該当する設備等が無い場合は、[-(全角ハイフン)]としてください。

② 実績(近年の整備実績を踏まえ、標準的な更新年数と考えられる年数。※厳密に実績から算定しなくて結構です。)また、対応が主に「事後的/計画的」に行われているのか選択して下さい。

		<年数>		<対応>
A. 屋上	・コンクリート押え(アスファルト防水)		年程度 (主に)
	・露出シート防水 (合成高分子)		年程度 (主に)
	・露出シート防水 (アスファルト)		年程度 (主に)
B. 外壁	・タイル張り(全面的な浮き補修 等)		年程度 (主に)
	・塗装・仕上塗材		年程度 (主に)
C. 設備	・照明器具		年程度 (主に)
	・エレベーター		年程度 (主に)
	・個別式空調(EHP空調/マルチ)		年程度 (主に)
	・個別式空調(EHP空調/パッケージ)		年程度 (主に)
	・個別式空調(GHP空調)		年程度 (主に)
	・中央式空調(主にボイラー設備)		年程度 (主に)
	・衛生設備(トイレ)		年程度 (主に)

※該当する設備等が無い場合は、<年数> <対応> 共に[-(全角ハイフン)]としてください。

5. その他

(1) 施設の維持管理等に関する取組のうち、下記の項目について工夫していることがあれば「○→」を入れるとともに、具体的な内容を記載してください。(選択と自由記述)

	修繕や改修を効率的に実施するための優先順位の考え方 (自由記述)
具体例	

	トータルコストの縮減やコストの平準化のための工夫 (自由記述)
具体例	

	各種工事の発注にあたってコストを縮減する工夫 (自由記述)
具体例	

	老朽化の実態把握を迅速・低コスト・省力的に行う工夫 (自由記述)
具体例	

	施設を大切に使う利用者意識の醸成の工夫(学生参画の取組など) (自由記述)
具体例	

	上記以外で、維持管理を効率的・効果的に実施する工夫 (自由記述)
具体例	

(2) インフラ長寿命化計画(個別施設計画)の策定にあたり、課題や必要な国の支援があれば記載してください(自由記述:400文字以内)

現在の文字数=0

